

富山市立図書館

図書館だより 第16号

富山市は大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の6町村と合併し、平成17年4月1日には新しい県都「富山市」が誕生します。これに伴って、図書館が17館から25館となります。

開館時間・休館日はほぼ従来どおりですので、詳しくは各窓口で配布している図書館カレンダーなどをご確認ください。

富山市立図書館(中央館1、分館15、
図書サービスコーナー1、自動庫文庫3)
住所：富山市丸の内1-4-50
TEL：076-432-7272
蔵書数：606,726冊

婦中町立図書館
住所：婦中町砂子田1-1
TEL：076-465-4493
蔵書数：74,914冊

山田村立図書館
住所：山田村湯880
TEL：076-457-2055
蔵書数：11,673冊

八尾町立図書館(中央館1、分館2)
住所：八尾町井田126
TEL：076-454-6846
蔵書数：111,746冊



新富山市
人口：417,146人
面積：1,241.9km²
総蔵書冊数：968,345冊

大沢野町立図書館
住所：大沢野町高内365
TEL：076-468-0950
蔵書数：82,228冊

細入村立図書館
住所：細入村楡原1077
TEL：076-485-9004
蔵書数：12,059冊

大山町立図書館
住所：大山町上滝577
TEL：076-483-0012
蔵書数：68,999冊

目次

特集1 岩瀬分館が新しくなります！	2
特集2 先進図書館見学記	3
いちおしライブラリー 第4回「伝説のロックスター」	4
山田孝雄文庫の資料 16「大須磨三郎絵巻」	6
レファレンスあれこれ	7
とやま市民交流館図書サービスコーナー開館一周年	8
こんな事業を行いました	8

特集 1 岩瀬分館が新しくなります！

学校が家庭や地域社会との連携を進め、子どもたちの「生きる力」を育成する「開かれた学校」を目指して、岩瀬小学校に連結した公民館棟の建設が進んでいます。その公民館棟に図書館岩瀬分館が移転し、図書館岩瀬分館は学校図書館と複合化・共用化する施設として、平成17年度から新たな出発をします。

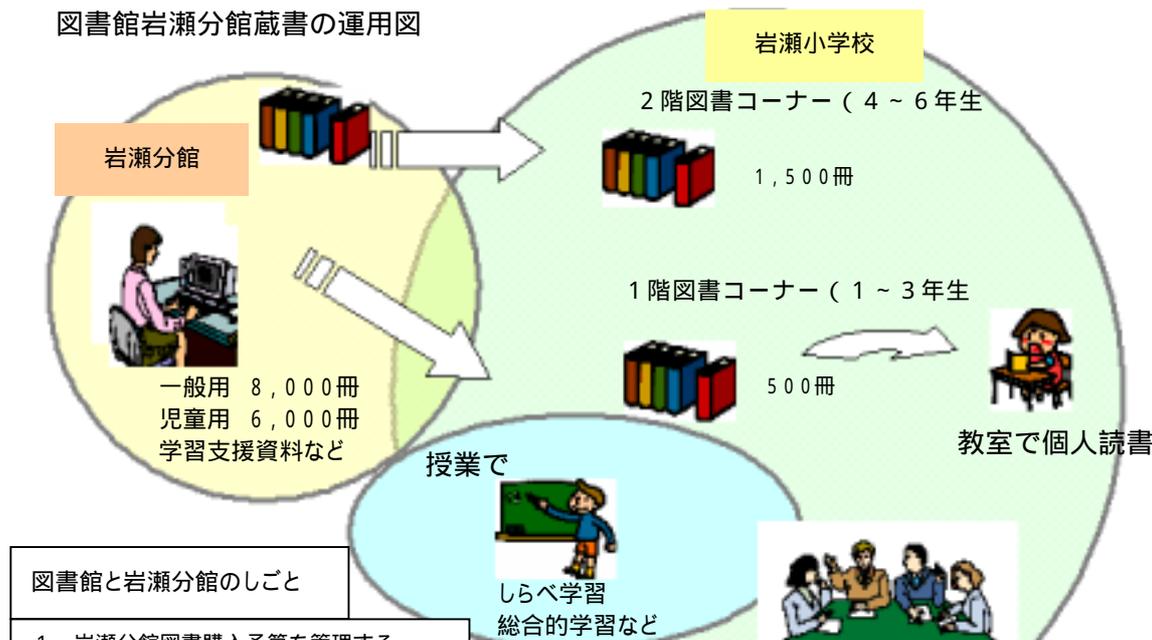
岩瀬小学校の場合には、図書館の中の一部のスペースと学校の中のオープンスペースに学校図書館機能を持つスペースが作られます。図書館は学校図書館への支援だけでなく、学校図書館そのものとしても機能し、学校図書館用図書の新注・受入から、学級招待・学校訪問などの学校向け行事を実施します。

公共図書館と学校を複合的に整備することは、学校と地域の連携を高め、教育活動の充実や学校図書館機能の高度化を図るものとして、全国でもいくつかの試みがなされています。学校図書館と隣接して公共図書館を建設する例や、渡り廊下により学校と公共図書館を含むコミュニティセンターを連結する例などがあります。



岩瀬小学校敷地内にて現在建設中

図書館岩瀬分館蔵書の運用図



図書館と岩瀬分館のしごと

1. 岩瀬分館図書購入予算を管理する
2. 一般図書・児童図書を選択・発注する
3. 学校用図書を発注する
4. 一般図書・児童図書・学校用図書を受入する
5. 生徒の個人利用カード・団体利用カードを発行する
6. 火曜から日曜日の貸出・返却業務を行う
7. 学級招待・学校訪問などの学校向け図書館行事を実施する
8. 図書館利用指導に協力する
9. 運営委員会に参加・協力する
10. その他通常の図書館分館業務をおこなう

岩瀬小学校図書館運営委員会のしごと

1. 学校図書館の運営方針を決める
2. 図書館利用指導・読書指導案を考える
3. 学校図書館の業務改善案を考える
4. 学校と図書館の協力のしかたを考える
5. 学校図書館で必要な図書を選定する
6. 図書コーナーなどにおく本を図書館で選ぶ
7. 団体貸出により貸出した本を管理する
8. その他

《品川区立大崎図書館ビジネス支援図書館》

1. 図書館の概要

品川区は、東京都心南部に位置し、機械・金属・電気などの製造業を営む中小企業の多い地域です。区は「ものづくり」をテーマに再開発事業や事務事業見直しを行っています。山手線、りんかい高速鉄道、湘南新宿ラインと交通の要所となるJR大崎駅前の図書館の2階に、ものづくりを支援するビジネス図書館が、平成16年7月に開館しました。区立図書館が資料と施設を提供し、品川区産業振興課が各種相談機能を担うものです。

資料面では、当初参考図書約800冊、新聞20紙、雑誌50誌でスタートし、最終的には約3,000冊の蔵書を目指しています。地元の企業や製品のパンフレット類も収集展示しています。情報検索データベースには、MAGAZINEPLUS（マガジンプラス）、PATOLIS-L（パトリス）、J-FAXなど5種の検索が可能です。

2. 図書館の特徴

情報や資料の調査、検索だけでなく、中小企業の経営者や技術者向けに、NPOによる講座（月1回）や大崎ものづくり道場（月1回）、よろず相談会（毎週2回）、環境に関する相談会（月2回）などが、ビジネス支援図書館を会場に、定期的に行われています。また、専用の「ビジネス支援図書館ホームページ」で関係事業や機関の紹介、イベントガイドを掲載しています。



《立川市中央図書館ビジネス支援コーナー》

1. 図書館の概要

立川市は、東京都のほぼ中央、西よりに位置し、青梅線、南武線、五日市線が乗り入れて、多摩都市モノレールが交差する東京三多摩地区の交通の要所です。国から首都圏の「業務核都市」に位置づけられ、広域的な都市機能が整備され、拠点形成が進められています。昭和52年に返還された立川基地跡地を利用した「ファール立川」は、商業・業務中心の近代的ビルが立ち並び、新しい都市空間が創出されています。

中央図書館は、立川駅北口から徒歩6分、「ファール立川」センタースクエアビル内（2F～4F）にあり、約35万冊を所蔵できる立川市の中心館です。平成15年6月に2階の地域・行政資料コーナーの一角に「ビジネス支援コーナー」が開設されました。

2. 「ビジネス支援コーナー」の特徴

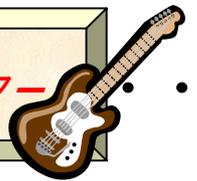
中央図書館2階の正面を入れて右側の、地域・行政資料コーナーの手前に「ビジネス支援コーナー」が配置されました。手軽に、三多摩地区のビジネス紹介パンフレットやリーフレットが見られます。また、各ビジネスシーンに適合した資料が書架に配置されています。さらに、新聞記事や判例を調べるために、3



階レファレンス室で新聞記事全文数据库（朝日、読売）や判例情報データベースが活用されています。

（中央館 城崎）

『いちおしライブラリー』 第4回 伝説のロックスター



ロックンロールの時代

『ポピュラー音楽の世紀』

中村とうよう / 著 岩波書店

ジャズ、ルンバ、ボサノヴァ、ロック、レゲエなど数々の音楽が生まれて地球上に広まったポピュラー音楽の時代。そんな20世紀の音楽シーンを著者自らが、世界とそれぞれの社会との関係にも目を配りながら、批判的に総括している。

多種多様に展開されてきた、人々のパワーに溢れる音楽がどのように創造され、伝播していたのかをエキサイティングに書き記している。

『ロックンロールの時代 - ロックンロール誕生からフィル・スペクターまで - 』

萩原健太 / 著 シンコー・ミュージック

1955年から64年、あるいは65年ごろまで。アメリカでロックンロールが誕生し、やがて衰退し、イギリスから逆輸入のような形で再びその衝動が復活するまでの、激動の10年を振り返る。

その間に、ポップミュージックの世界でどれほどの価値観が転換を見せ、新たな発見がなされ、躍動感、高揚感が当時の若者達にプレゼントされたか。この本には、その全ての答えがある。

『スーパースターの時代 - 変容する70年代ロックのすべて - 』

天辰保文 / 著 シンコー・ミュージック

シンガー・ソングライター・ブーム、サザン・ロック、ハードロックとプログレシヴ・ロック、グラム・ロック、ウエスト・コースト・サウンド、ディスコ・サウンド、パンク・ロックなど、1970年代に現れた顕著な音楽シーンについて、時代を明確に分析し、的確に位置付けし、順序立てながらその流れを綴っている。

『ロック偉人伝』 上巻、下巻

デイヴィッド・ダルトン / レニー・ケイ / 共著
シンコー・ミュージック

上巻では、'50年代ロックンローラたちに始まり、'60年代初頭に登場したロックの生みの親とも言うべき英米のロックシンガーや、ヴォーカル・グループの足跡を探求する。“エルヴィス・プレスリー”から始まり“ビーチ・ボーイズ”まで、40アーティストを紹介。

下巻では、'60年代中盤から'70年代初頭に登場し、その後のロック・ムーブメントを決定づけた、英米ロックの革新的なシンガーやグループたちの足跡を探求する。

“ザ・バーズ”から始まり“デヴィッド・ボウイ”まで、40アーティストを紹介。



ロック界のカリスマたち

『エルヴィスが社会を動かした ロック・人種・公民権』

マイケル・T・パートランド / 著 青土社

米国社会の強固な差別意識と偏見を打ち崩したのは、政治意識に目覚めた運動家ではなく、若者たちを魅了した、ロックンロールという新しい音楽であった。



保守的な社会意識が根強く残るアメリカ合衆国の南部で、若者たちから熱狂的な共感を集めたエルヴィス・プレスリーの音楽活動を通して、戦後アメリカの社会構造を読み解く。

『ダウン・ザ・ハイウェイ ボブ・ディランの生涯』

ハワード・スーンズ / 著 河出書房新社

3年の歳月をかけ、250人にのぼる関係者とのインタビューをもとに執筆した、ディラン伝記の決定版。60年代から現在までの全ての時代をカバーし、音楽面はもとより、今まで謎に包まれていた私生活の知られざる面も明らかにされる。

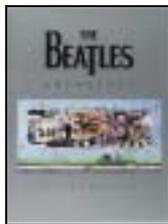
ディランと同時代を生きてきた人々はもちろん、若い世代からも新しい音楽の先駆者として愛され続けるディランの創造性は、現在も全く衰えていない。



『THE BEATLES アンソロジー』

ザ・ビートルズ・クラブ / 監修翻訳

リットーミュージック



ビートルズ自身によって記された、初のビートルズ・ヒストリー。ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、リンゴ・スターの3人が、本書のための独占取材を承諾した。そして、彼らとヨーコ・オノ・レノンの許諾のもと、テレビ/ビデオ・シリーズ「ビートルズ・アンソロジー」の未使用部分も再現することが可能となった。また、世界各地に散逸していた資料を集めた結果、ジョン・レノンの発言についても多数掲載することができた。

60年代は若者に革命が起きた時代だ。ビートルズもその一部だった(ジョン・レノン)。

『ザ・ローリング・ストーンズ ストリート・ファイティング・イヤーズ』

ステファン・バーナード / 著 同朋舎出版

世界最強のロックンロール・バンドの称号を手にする、ザ・ローリング・ストーンズが

活動した音楽と喧噪の30年を、250点を超える世界の一流カメラマンによる写真を織り交ぜながら詳しく書き記す。

それらの写真群について、バンドの元メンバーでベース担当のビル・ワイマンは、いずれも作品として傑出しており、我々バンドの真の実体をそのまま伝え、ストーンズの真実に迫るものばかりである。と寄稿文に記している。

『天才ジミ・ヘンドリックス ギター革命児の真実』

ジョン・マクダーモット / エディ・クレイマー

/ 共著 シンコー・ミュージック

天才ギタリストとして、ロック史にその名を刻んだジミ・ヘンドリックス。斬新なギター・サウンド造りのパイオニアとして、驚異のテクニクを生み出していった彼の足跡を、長年エンジニアを務めたエディー・クレイマーが中心となり、ジミに関わった様々な人々の証言を詳しく記録した力作。



『エリック・クラプトン スローハンド伝説』

ハリー・シャピロ / 著 音楽之友社

1974年12月、エリック・クラプトンは、ロンドンのハマースミス・オデオンのステージに立つ。誰かが、「クラプトンは神だ!」と叫ぶ。拍手大喝采が起きる。やがて、コンサート会場に静寂が訪れた。クラプトンはステージの前まで歩いていき、両手を広げ、こう言った。「僕は神じゃない。ただ世界最高のギタリストだ」

白人がブルースを演奏することの苦しみを軸に彼の音楽の変遷を追い、ギタリスト・クラプトンの人間像を浮き彫りにする。

(月岡分館 坂元)



山田孝雄文庫の資料 16



大須磨三郎絵巻 朝田由豆伎自筆本 1冊

「大須磨三郎絵巻」とあるが、山田孝雄博士によると「男衾三郎絵巻」(「男衾三郎絵詞」)と同じもので、「をふすま」と仮名書にしてあるのを誤り読んで漢字にあてて誤ったもの(『典籍雑攷』)であろう。「男衾三郎絵巻」という題名に覚えがなくても、その部分写真を見たひとは多いはずである。中学校や高校の日本史の教科書の中に、鎌倉時代の武士の風俗の例として、流騎馬などの様子を描いた絵が掲載されているが、その絵が「男衾三郎絵巻」から採ったものなのである。

「男衾三郎絵巻」は安芸の浅野家に伝来していたものとして名高く、現在は重要文化財の指定を受け東京国立博物館に所蔵されている。

物語のすじは、おおむね次の如くである。昔武蔵の大介という大名の子に吉見二郎・男衾三郎という兄弟がおり、兄の二郎は美しい妻をめとり風流文雅を好み、弟の三郎は醜女を妻に迎えて武勇第一の荒々しいことを好んだ。ある年兄弟が上京することになったが、途中吉見二郎は山賊に殺され、男衾三郎は残された吉見の妻と美しい娘 慈悲 を押込め、領地を横領する。ところが新任の武蔵国司が 慈悲 を見初めて之を所望した。男衾はこれを妬んで、醜いわが娘を国司の館に送りこむが、これを見て国司が 慈悲 を恋慕う歌二首を詠む、というところで話は途切れている。

ここまでの物語の筋からすると、男衾三郎は主人公ではなく、敵役である。山田孝雄博士によると、「男衾三郎の事を多く書いているが為か、大須磨三郎絵、大須磨三郎物語、男衾三郎草子、男衾三郎絵詞等と唱えられている。それで今もそういう名を用いておくが、実は本名は未だ知られないものである。」(『典籍雑攷』)となる。

山田孝雄文庫所蔵の「大須磨三郎絵巻」は「男衾三郎絵巻」の詞書の部分の写しである。表紙に「朝田由豆伎自筆本」とあるが、本文末尾にある奥書に「右詞書友人鈴木惟年以所蔵画卷物寫之ノ誤多難讀于時嘉永元年晩夏(弓槻花押)」とあり、蔵書印などから判断して、朝田由豆伎以外のだれか(多分黒川真頼)が自筆本と書いたと思われる。

また由豆伎の奥書の前に元の奥書があって、それは「右大須磨三郎絵巻は藝州侯ノ之所蔵にして画八土佐筆 法眼永真ノ極有之ノ詞書八二條家為氏卿 畠山牛庵ノ極有之也」というものである。このことから、写本のもととなった最初のものが、芸州浅野家所蔵の絵巻であると推測でき、山田博士の推測に根拠を与えるものである。(中央館 亀澤)

写本。朝田由豆伎 弘化 4~嘉永元年(1847~1848)写。〔33〕丁。たて 27.5 cm×よこ 19.2 cm。毎半葉 11 行 毎行 21 字~22 字。表紙に朱墨で「朝田由豆伎自筆本」とあり。外題:「大須磨三郎絵巻ノ金岡西大寺縁起ノ証皇画詞 鳴不動縁起ノ賢学法師絵詞 日高川縁起」。本文:1丁~10丁が大須磨三郎絵巻、11丁~20丁が古和文縁起(和文古縁起)、21丁~24丁が鳴不動縁起、25丁~33丁表が賢学法師絵詞。33丁裏は後表紙に糊付け。印記:「朝田弓槻之印」「黒川真頼蔵書」「黒川真道」「黒川真道蔵書」



レファレンスあれこれ



Q . 江戸時代、長崎にあったオランダ商館の歴代商館長の名前を一覧したい。



A . 最初に、日本歴史の百科事典ともいわれる『国史大辞典』(全 15 巻 吉川弘文館 1979 年)を見ると、3 頁にわたり解説が載っています。「オランダ商館」は、1609 年平戸に開設されたオランダ東インド会社の日本支社で、鎖国によって 1641 年長崎出島に移転し、1858 年開国後は、領事館になったとの記載があります。併せて、商館長名と在任期間の一覧も掲載されています。

次に、『日本史総覧』(全 6 巻 新人物往来社 1983 年)を調べてみます。これは、時代別に諸表、諸一覧がまとめられているもので、オランダ商館長一覧のほか、平戸・長崎オランダ商館長江戸参府一覧も収録されており、かなり詳しい資料を見ることができます。

このほか、『日本歴史大事典』(全 4 巻 小学館 2000 年)を調べてみると、こちらにも一覧が記載されていて、参考文献として「長崎オランダ商館長日記」等が載っています。そこで書名検索をしてみると、当館では次の 2 誌を所蔵していることがわかりました。

『平戸オランダ商館の日記』(永積洋子訳 全 4 巻 岩波書店 1980 年)と、『長崎オランダ商館の日記』(村上直次郎訳 全 3 巻 岩波書店 1980 年)は、当時の商館長が記録していた日記の翻訳本であり、日本文化史の重要史料であるので、興味のある方は、一読をおすすめします。

Q . 高橋たか子の「臨床日記」を読みたい。
関原健夫著「がん六回人生全快」の中で紹介されていた。

A . 著名な作家であるので、すぐにわかると思いましたが、書名や著者名検索をしてもみつかりません。そこで紹介されていた本で確認すると、「夫の高橋和巳が大腸がんの肝臓移転の発見後、半年で逝去するまでの苦闘の日々を描いた作品」との一文がありました。

高橋たか子氏の作品の中に、夫和巳との思い出を綴った手記『高橋和巳の思い出』(構想社 1977 年)があります。その目次をみると、三項に質問の『臨床日記』が収録されていることがわかりました。

Q . 以前テレビで放映されていた「白い影」の原作を読みたい。

A . 書名で検索しても該当のものはありません。ドラマ放映等の場合、原作名そのままではないことが多いので、手掛かりを得るために、インターネット検索をしてみました。

「白い影」公式ページというサイトがあり、2003 年新春ドラマスペシャルとして放映された作品であることがわかりました。その中のスタッフ紹介のページに、原作『無影燈』(渡辺淳一)と掲載されています。

当館では、角川文庫(1994 年)や『渡辺淳一全集』(角川書店 1995 年)に収録されており提供することができました。

(藤ノ木分館 早瀬)



とやま市民交流館開館一周年!

CiC ビルのリニューアルに伴い、ビジネス支援と児童サービスを中心とした「とやま市民交流館図書サービスコーナー」がオープンしてから、一年が経過しました。



そこで、開館から一年間にわたる利用状況をご紹介します。

	来館者数	貸出冊数	図書予約件数 (窓口)	図書予約件数 (インターネット)	計	インターネット 利用者	ビジネス講座
平成 15 年 12 月	4,865 人	1,952 冊	34 件	94 件	128 件	732 人	
平成 16 年 1 月	4,504 人	2,152 冊	54 件	200 件	254 件	957 人	
2 月	4,979 人	2,289 冊	61 件	171 件	232 件	1,140 人	
3 月	5,459 人	2,777 冊	68 件	222 件	290 件	1,624 人	
4 月	4,592 人	2,188 冊	75 件	128 件	203 件	1,348 人	
5 月	4,743 人	2,267 冊	289 件	203 件	492 件	1,361 人	
6 月	4,460 人	2,155 冊	55 件	246 件	301 件	1,471 人	
7 月	4,713 人	2,146 冊	106 件	214 件	320 件	2,079 人	
8 月	5,512 人	2,027 冊	82 件	252 件	334 件	2,576 人	
9 月	4,437 人	1,912 冊	83 件	278 件	361 件	1,900 人	2 回 109 人
10 月	4,455 人	2,244 冊	118 件	284 件	402 件	1,744 人	1 回 47 人
11 月	4,347 人	2,445 冊	146 件	417 件	563 件	1,682 人	
小計	57,066 人	26,554 冊	1,171 件	2,709 件	3,880 件	18,614 人	3 回 156 人



来館者数は約 4800 人/月、図書の貸出は約 2200 冊/月と、一年を通してほぼ安定しています。

インターネットからの予約が全体の 6~7 割を占めたり、インターネット端末の利用が非常に多いことが、大きな特徴といえます。

こんな事業を行いました

<本のリサイクル広場>

11 月 3 日の文化の日に、除籍手続きを経て不要となった図書や雑誌を無料で提供する「本のリサイクル広場」を開催しました。今年度は予想を上回る大人気で、1,206 人が来館され、用意していた一般図書 7,400 冊と雑誌 2,589 冊が、終了時刻前に全てなくなってしまいました。



平成 17 年 1 月 13 日 富山市立図書館 編集・発行 富山市丸の内 1 丁目 4 - 5 0 TEL 076-432-7272
HP アドレス <http://www.library.toyama.toyama.jp> E-mail lib-02@library.toyama.toyama.jp